

令和6年9月新見市議会定例会  
日程第4（市長の行政報告について）

## 市 長 行 政 報 告

本日、9月市議会定例会を招集いたしましたところ、皆様方にはご多用の中ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

まず、本市にとりまして、うれしいニュースが続けてありました。

8月11日から13日まで、福岡市で開催された「第24回全日本中学生男子ソフトボール大会」では、新見ジュニアソフトボールクラブが準優勝されました。

また、8月17日から20日まで、富山市で開催された「第46回全国中学校ソフトボール大会」では、新見第一中学校ソフトボール部が2年連続で第3位の成績を収められました。

加えて、7月に本市で開催された「第45回全日本男子ソフトボール選手権大会」では、新見城山クラブがベスト8に、長崎県大村市で開催された「全国高等学校総合体育大会」では、4年連続で出場した新見高等学校ソフトボール部がベスト16に入りました。

本市のチームがそれぞれ好成績を収められたことで、全国に「ソフトボールのまち新見市」を大きくPRし、若い世代に夢と希望を与えてくださいました。選手の皆様の今後ますますのご活躍をお祈り申し上げますとともに、関係各位に対しましてお喜びを申し上げたいと思います。

次に、9月28日から11月24日までの期間、県北部12市町村をアート作品で盛り上げる、「森の芸術祭 晴れの国・岡山」が初めて開催されます。本市では、満奇洞や井倉洞など市内4会場に、世界的にも有名な「蜷川実花（にながわみか）氏、アンリ・サラ氏」などのアート作品が展示される予定となっております。なかでも、鍾乳洞の中に作品が設置されるのは本市だけであり、自然の造形美とアート作品が織りなすエネルギーを是非皆様にも体験していただきたいと思います。

また、森の芸術祭の開催をチャンスと捉え、インスタグラムやフェイスブックなどのSNSを活用しながら、本市の魅力を県内外に広く発信してまいります。

それでは、前回市議会定例会以降の取組等について、報告をさせていただきます。

まず、「産業・経済」についてであります。

「新見市オリジナルI C O C A」につきましては、7月末現在、市民の皆様の88%

が利用されております。

市内加盟店１０６店舗において、これまで付与した「にーみんポイント」につきましては、約４億２千２百万円分が利用され、電子マネーの利用も、約４億２千６百万円となっており、市内経済の活性化が図られているものと考えております。

また、７月１９日から８月１８日まで、電子マネーの利用額に対して５０％、最大５，０００ポイントを付与するキャンペーンを実施した結果、約９，８００人の方が参加され、約１億１千２百万円分の電子マネーが利用されております。ポイント付与は、９月６日に行うこととしております。

なお、オリジナルＩＣＯＣＡの利活用方法などが学べる「出前講座」は、地域の集まりや高齢者サロン、公民館活動などに出向いて実施することとしており、これまで４回の講座を実施したところであります。

引き続き、市民の皆様の利便性向上と加盟店の増加を図りながら、キャッシュレス化の推進と市内経済の好循環に向けて取り組んでまいります。

観光振興の分野につきましては、冒頭申し上げました、「森の芸術祭 晴れの国・岡山」の開催に向け、本市の主な観光誘客のターゲットである関西圏を中心とした、ＰＲ事業を実施することとしております。

まず、芸術祭や満奇洞、井倉洞のＰＲ画像を車体にプリントした「ボディプリントトラック」を、市内運送事業者が県外を中心に運行することとして、８月６日に出発式を実施したところであります。

さらに、ＪＲ大阪環状線の車両１編成に、約１か月間、芸術祭やＡ級グルメなど、本市の観光資源をＰＲする車体広告を実施することとして、９月２３日に、ＪＲ大阪駅での出発式を予定しております。

また、これらＰＲ事業に加え、アート作品と市内の文化・芸術施設をめぐり、千屋牛などのＡ級グルメ食材も提供するバスツアーや、新たな公式アカウント「新ハッ見！みんなのにいみ愛」による県内外への情報発信など、本市独自の取組を実施することで、さらなる観光誘客につなげてまいりたいと考えております。

雇用の確保につきましては、高校卒業時に就職を理由とした人材の市外流出が続いていることから、市内企業への関心を高め、市内就職への意識向上を図ることを目的として、市内高等学校での「市内企業説明会」を実施いたしました。

岡山県共生高等学校では、６月１２日に開催し、市内企業１０社、２８人の生徒が参加いたしました。また、新見高等学校では、６月１９日に開催し、市内企業２０社、１４２人の生徒が参加いたしました。

さらに、市内企業の雇用拡大に向けた支援を強化するため、６月２９日に新見市、高梁市、吉備中央町の２市１町合同による「ハローワーク高梁管内合同就職フェア」を、まなび広場にいみにおいて、開催したところであります。

こうした取組が、市内企業の慢性的な人手不足の改善や地元雇用・地元就職の推進

につながることを期待しております。

次に、「健康・福祉」についてであります。

子育て支援につきましては、市内の公立保育所、認定こども園でおむつの定額制、いわゆるサブスク制度を9月から導入することとしております。実施に先立ち、7月から無料の試行期間を設けたところ、多くの保護者にご利用いただいております、子育て世帯の負担軽減につながるものと考えております。

介護人材の確保につきましては、9月24日から全15回の日程で、介護職員初任者研修を実施することとしており、現在受講生を募集しております。市内で受講できるまたとない機会でありますので、是非受講していただきたいと考えております。

戦没者追悼式につきましては、8月17日にまなび広場にいみにおいて、関係者約100名の参列のもと開催いたしました。今後も戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えてまいりたいと考えております。

次に、「教育・文化・スポーツ」についてであります。

「学校給食費応援に一みんポイント事業」につきましては、7月20日に1回目のポイント付与を行いました。

今回の付与は、4月から7月までの4か月が対象で、小学生961人、中学生552人、合わせて1,513人に、3,245万7千ポイントを付与いたしました。

子育て世帯の家計支援並びに市内消費の好循環につながるものと考えております。

高等学校の支援につきましては、8月8日に新見高等学校ソフトテニス部が部活動専門人材派遣事業を活用し、全日本シングルスソフトテニス選手権大会3連覇中の上松俊貴（うえまつとしき）選手から技術指導を受けました。

この取組により、参加した市内中学生を含む62名の生徒の技術向上が図られたとともに、新見高等学校の魅力向上につながったものと考えております。

生涯学習の推進につきましては、新見市立中央図書館の来館者数が、8月27日に100万人に達し、当日は、100万人目となった方に記念品を贈呈いたしました。

中央図書館は、毎月テーマを決めた展示や、子どもや一般向けのイベント、NHK岡山放送局アナウンサーを招いての朗読会の開催などにより、毎年10万人を超える方に利用いただいているところであります。

今後も多くの皆様に愛され、親しんでいただける図書館であり続けられるよう、利用促進に努めてまいります。

次に、「都市基盤・交通」についてであります。

まず、7月18日に、今回が初開催となる岡山県主催の「安全・安心な県土づくり総決起大会」に、榎議長とともに出席してまいりました。岡山県知事をはじめ、県選出国會議員、県議會議員、市町村長、市町村議會議長、総勢106名の出席のもと、国土強靱化の取組を今後より一層強力に推進していくための8つの事項について決議し、国土交通省、総務省、財務省などに対し要望活動を行いました。

また、7月下旬から8月上旬にかけて、備北新線、主要地方道新見勝山線、主要地方道新見日南線などの各整備促進期成会の会長として、榎議長とともに、要望活動を行いました。岡山県、国土交通省、県選出国會議員などを訪問し、道路の現状や地域の発展に必要な幹線道路の整備など、地域の声を届けてまいりました。

今後とも、道路などの都市基盤の早期整備を粘り強く働きかけてまいります。

市道新見公立大学線につきましては、県道上市井村西方線から新見公立大学地域共生推進センターに至る、延長約400メートルの区間を2車線化することとしております。県道から約70メートルの区間の改良について、8月21日に工事着手したところであり、令和9年度的全線完成を目指してまいります。

情報通信の分野につきましては、新たな情報伝達手段として、新見市LINE公式アカウントを9月2日に開設することとし、現在準備を進めているところであります。国内での利用率が90%を超えているLINEを導入することで、多くの市民の皆様とのコミュニケーションを図ってまいります。

主な機能といたしましては、アンケートでの情報収集や意見募集を行えるほか、一人ひとりのニーズに合った情報を提供できるセグメント配信、市民の皆様が道路施設の損傷や倒木、ごみの不法投棄を発見した際に、LINEから写真や位置情報を送信して、市に通報することなどができます。LINEを導入することで、市民の皆様の利便性の向上につながるものと考えております。

鉄道利用促進の取組につきましては、新見市鉄道利用促進協議会において、8月1日から11月30日までの期間、JR芸備線及び姫新線で新見駅を発着する乗車運賃を対象として、「にーみんポイント」の還元を行っております。また、乗降回数に応じて応募できる、商品プレゼント企画などを行っておりますので、積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

次に、「環境」についてであります。

脱炭素社会の実現に向けた取組につきましては、昨年度に続き、国の交付金を活用し、PPA事業を実施することとしております。7月に事業者からの提案を受け、きらめき広場・哲西と神郷支局の2施設に太陽光発電設備を導入することといたしました。今後、年度内の完成を目指すとともに、様々な事業を実施し、2030年ゼロカーボンシティの実現に向けて事業を進めてまいります。

次に、「交流・コミュニティ」についてであります。

本市の課題に対し、様々な角度から行政施策を提言していただく「地域審議会」につきましては、8月5日に、第9期となる委員を委嘱いたしました。

今後、提言をいただくテーマを決定し、審議を重ねることとしておりますが、まずは、同日開催された第1回審議会において、現在策定を進めている第3次新見市総合計画後期行動計画案に対してご意見をいただいたところであります。

なお、第3次新見市総合計画後期行動計画案に係る意見聴取につきましては、8月5日から9月6日までの期間で市民の皆様からのご意見を募集しているところであり、今後、いただいたご意見を踏まえ、計画案の修正を行う予定としております。

次に、「広聴・広報」についてであります。

広聴・広報につきましては、7月19日から8月5日までの期間、各支局単位の7会場で、市政懇談会「市長とフリートーク」を開催いたしました。

公共交通施策の更なる充実や新見高等学校の存続などについて、ご意見やご提言をいただき、有意義な懇談会が実施できました。

この貴重なご意見やご提言を今後の施策の参考にしてまいりたいと考えております。

以上、市政運営の状況につきまして主なものをご報告いたしましたが、引き続き市政の推進にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。